

駿府城絵図を購入

◆アピールポイント	・本年8月に山梨県内で新たに確認された駿府城の絵図を、静岡市が購入しました。 ・この絵図には、天守とそれに連なる建物の明確な平面図など、これまで知られている絵図には描かれていなかった内容が多く含まれており家康が築いた駿府城の姿を知る貴重な手掛かりとなるものです。 ・この絵図は令和8年1月7日（水）から歴史博物館で一般公開します。
◆内容	・購入資料「伝酒井家旧蔵 すんぶごじょうないえ ず 駿府御城内絵図」 ・購入の経緯 静岡市では、駿府城に関する資料を収集しています。 本年8月に山梨県内で新たな駿府城の絵図の存在が確認され、資料調査を行ったところ、貴重な資料であることが判明しました。所有者の方は、ご自身の所有する資料を広く活用してほしいという意向をお持ちであったため、静岡市に資料をお譲りいただくことになりました。 ・資料について 姫路藩主酒井家に伝来したとされる絵図で、延宝年代（1673～81）に描かれたと推察される城郭図の写しです。本図では、天守とそれに連なる建物の平面配置が確認されました。また、二ノ丸の北辺の石垣上に櫓と思われる構造物が描かれているほか、三ノ丸から本丸につながる水道が詳細に描写されるなど、慶長12年（1607）に徳川家康が築いた駿府城やその天守について知る手掛かりとなる貴重な資料です。 今後は、歴史博物館での展示のほか、令和9年度オープン予定の駿府城跡天守台ガイダンス施設のVR制作等に活用していく予定です。
◆公開予定	・「伝酒井家旧蔵 駿府御城内絵図」の初公開 期間：令和8年1月7日（水）～2月15日（日）（予定） 場所：静岡市歴史博物館（葵区追手町4番16号） ・歴史博物館グランドオープン3周年を記念し、1月11日（日）は観覧無料。

別紙資料

有・無

イベントカレンダーへの掲載 無

【購入に関する問合せ】

歴史文化課（静岡庁舎新館16階）

担当：川口、國島

電話：054-221-1085

【展示に関する問合せ】

静岡市歴史博物館

担当 廣田、増田

電話 054-204-1005

でんさかいけきゆうぞう すんぶごじょうないえ ず
【別紙】資料概要 「伝酒井家旧蔵 駿府御城内絵図」

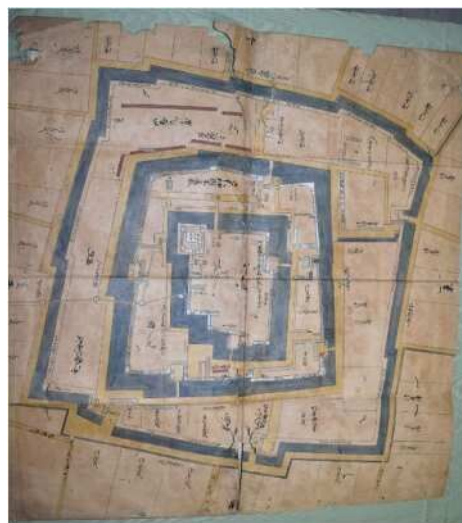
でんさかいけきゆうぞう すんぶごじょうないえ ず
 資料名「伝酒井家旧蔵 駿府御城内絵図」

寸法 約 75 cm×72 cm

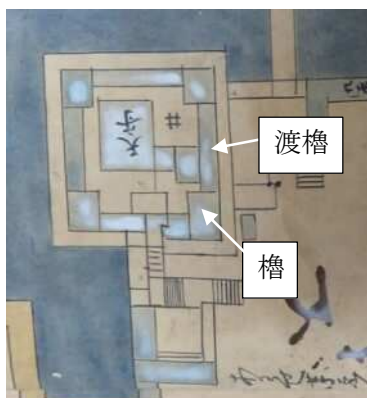
【概要】

姫路藩主酒井家に伝来した絵図で、延宝年代（1673～81）に描かれたと推察される駿府城城郭図の写しです。天守とそれに連なる建物の平面配置が描写されているのが特徴です。

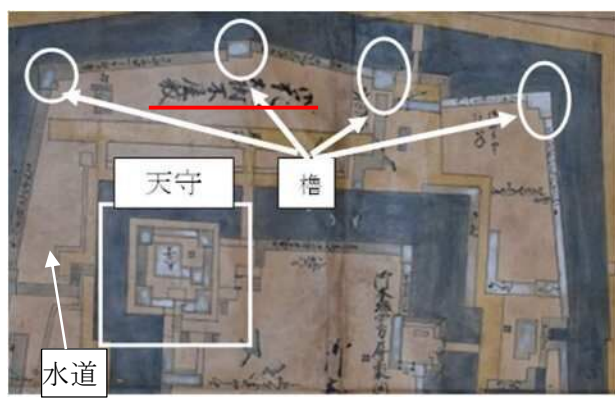
※酒井家：古くから松平家と関係が深く、三河の在地領主から江戸時代には譜代大名となり、老中や大老が選任された。寛延2年（1749）より姫路藩主を務めた。



（全体図）



①天守台部分拡大（北を上とする）



②天守と櫓と思われる建物

特徴

○天守(環立式天守：天守周囲に櫓を配置し、^{かんりつしき}渡櫓で連結した形式の天守)の平面配置が描かれている(①)。

○二ノ丸の北辺の石垣上に4つの櫓の存在を伺わせる表記が見られる(②)。

○天守北側（二ノ丸）に「御花畑樹木屋敷」^{おはなばたけじゅもくやしき}と記載がある(②赤線部)。

○三ノ丸の西側から本丸につながる水道と考えられる描写があり、それが上記の「御花畑樹木屋敷」付近まで伸びている(②)。

評価

これまで知られている絵図には描かれていなかった天守の平面構造などが描かれており、慶長12年（1607年）に、徳川家康公が築いた慶長期駿府城やその天守について知る手掛かりとなると考えられます。日本城郭協会常務理事の加藤理文氏は「建物の規模や配置が分かる絵図で築城の全容に迫る第一級の史料」とであると評価しています。

慶長期駿府城 関連年表

慶長 5 年(1600)	関ヶ原の合戦
慶長 8 年(1603)	家康、征夷大將軍になる。
慶長 10 年(1605)	家康、秀忠に征夷大將軍職を譲る。
慶長 12 年(1607)	家康、駿府城の大改修を開始、駿府城へ移る。 【慶長期駿府城】 本丸が火事で焼失。
慶長 13 年(1608)	本丸御殿再建、天守上棟する。
慶長 14 年(1609)	家康 10 男頼宣、駿府城主となる。
慶長 15 年(1610)	天守を含めた築城が完成する。
元和 2 年(1616)	家康、駿府城で死去(75 才)、久能山に埋葬される。
元和 5 年(1619)	頼宣、和歌山城主となり駿府を離れる。
寛永元年(1624)	徳川忠長、駿府城主となる。
寛永 8 年(1631)	忠長、改易、蟄居を命じられる。
寛永 9 年(1632)	忠長自害。翌年、駿府城代が置かれる。
寛永 12 年(1635)	火災により天守、御殿、櫓等が焼失。
寛永 15 年(1638)	御殿、櫓、城門などが再建されるが、天守は再建されず。
※延宝年間(1673~81)	※「駿府御城内絵図」が描かれたと考えられる。
※寛延 2 年(1749)	※酒井氏、姫路藩主となる。